

Johnson & Johnsonが、ニューヨークでの5月31日の懲罰的決定について陳述文を提出

ニュージャージー州ニューブランズウィックー本公判は、法的小よび証拠に關連する重大な誤りの被害を被り、その事实在控訴審による破棄を保證するものとJohnson & Johnsonは考える。独立した専門家および學術機關による数十年に渡る試験は、Johnsonのベビーパウダーにはアスベストが含まれておらず、がんの原因とはならないことを繰り返し確認している。

上訴手続を通じてJohnson & Johnsonに対して行われた全ての答申について、全てが否決された。さらに、Johnson & Johnsonの製品は原告のがんに対して責任を負わないと陪審員が結論づけた公判が数件あり、またその他の事例では、裁判官は事實確認に基づき、訴訟を棄却した。

先週、サウスカロライナ州の陪審員全員が、Johnsonのベビーパウダーにはアスベストが含まれておらず、原告の病気の原因ではなかったと結論づけ、その件が最近の数ヶ月間においてJohnson & Johnsonを支持する5回目の答申だった。

米国食品医薬品局 (FDA) および国立労働安全衛生研究所 (NIOSH) などの政府機關ならびにマサチューセツ工科大学、コロラド鉱山大学、プリンストン大学などの學術機關によって50年に渡り実施されてきた独立した科学的評価の全てが、Johnsonのベビーパウダーは安全であると確認している。

###